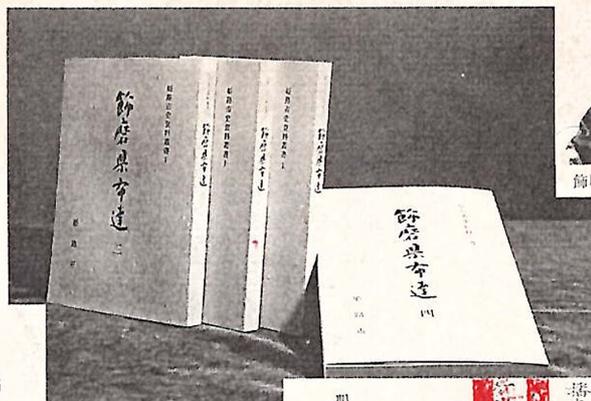


飾磨県布達 四



飾磨県権令 喜四昌述



監修 宮川 秀一 (大手前女子大学教授)
八木 哲浩 (神戸大学名誉教授)

解説 山崎 隆三 (大阪市大学名誉教授)

著者 喜四昌述

地券之證

海防局飾磨部局知事

右検査之上 校印

飾磨県権令 喜四昌述

明治九年

飾磨縣平氏

三木新太郎

當四月七年十月

小學幼稚課卒業證書

第三卷 飾磨縣内

第九卷 香中學校 飾磨東郡

第九卷 香中學校 飾磨東郡

敬業學校

明治九年四月

小学校卒業證書 (本校一家文書)

〔中〕地券 (巴川町水利組合所蔵文書)

飾磨県の中間点の諸相

— 明治七年の飾磨県布達より —

明治の黎明期に、姫路は播磨の中心地として飾磨県の誕生をみます。本巻の対象とする明治七年は、飾磨県の成立から廃止にいたるまでのほぼ中間点にあたり、維新の改革の流れのなかでの過渡期になります。

この時期の政治的情勢を概観すれば、六年の「征韓」論争の決裂で西郷隆盛が下野し、太政官政府は、ここにはじめて分裂の危機に直面しました。全国の土族の反政府的な動きも高まり、一月一四日赤坂での「征韓」論派の高知県士族による岩倉襲撃事件や佐賀の征韓党・憂国党の反乱が勃発し、大久保政権を悩ませます。このような国内政情の不安定のなかで、大久保政権にとって最重要課題であった秩禄処分や地租改正については、七年には、実質的な進展がみられませんでした。

解説は、市史編集専門委員の山崎隆三氏により、当時の政策について掘り下げた叙述がなされています。国や飾磨県が取り組んだ「小学校の開設」・「徴兵」・「地租改正」・「秩禄処分」・「藩債、藩札処分」について、この時期にどのように進展したかが述べられています。

◆各巻の構成と今後の発刊計画

第一巻	明治四年十一月～明治六年三月	既刊
第二巻	明治六年三月～七月	既刊
第三巻	明治六年七月～十二月	既刊
第四巻	明治七年一月～十月	今回発刊
第五巻	明治七年十月～	平成十年度発刊予定
第六巻	明治八年(上)	
第七巻	明治八年(下)	
第八巻	明治九年	

〈購読申し込みについて〉

頒価(各巻) 一、五〇〇円 送料：三〇〇円

頒布場所 城内図書館 史料整理担当

申込先 〒650-0033 姫路市本町六八―二五八

日本城郭研究センター内

城内図書館 史料整理担当

TEL ● 七九―二八九―四八八六

全9巻発刊済